

明専の絆と 素晴らしいDNAを活かそう！

明専会会長 高原 正雄（機43）



卒業生の皆さん、おめでとうございます。

皆さんは、長い学業を終えて、いよいよ新しい道に踏み出すことになります。これまでに培った知識や見識をしっかりと活かして大いに羽ばたいてください。

また、この日まで薫陶され、見守って来られた保護者やご家族の皆様のお喜びはひとしおのことと拝察致します。衷心よりお祝いを申し上げます。ご承知のとおり、九州工業大学は、九州の炭鉱王・安川敬一郎翁が巨額の私財を投入し、山川健次郎先生を総裁に迎えて設立した私立明治専門学校に始まりました。山川健次郎先

生は、会津白虎隊出身で、日本初理学博士、東京帝国大学第6代総長の経歴を有した教育界の最高峰の人でした。安川敬一郎翁の崇高な報国精神に深く感銘し、自らが理想とした教育『技術に堪能なる士君子の育成』を、九州のこの地にて実践しました。厳格な教育を受けた先達の多くは、世のため、人のために生涯を捧げ、国内外における産業界、教育界、政界などで著しく貢献されました。それが、110年間も『名門・明専』と言われ続けてきた所以でありました。皆さんは、そういった優れたDNAを受け継いでいる人たちです。したがって、自信を持って世の中で大活躍してください。そのためにも、若いうちに大きな感動をたくさん経験し、汗にも油にも塗れた労を厭わないプロフェッショナル・エンジニアにスパイラルアップすることを目指してください。

私が母校から巣立ったのは、今か

らおよそ半世紀前になります。当然ながら、その時はまだ若く、皆さんの今の歳でした。尊敬する恩師から『工学とは、森羅万象の営みを解明し、それを人民社会の営みに役立たせる学問である。これからも工学に関わる研究や開発、ものづくりなどに従事するであろうが、世のため、人のために大きな目標や志を持って活動すること』と激励されました。その言葉を心に抱いていすゞ自動車に入社した私は、これを実践するための行動基準を「信頼と技術と飛躍」とし、いすゞでの第1ページに書き留めました。信頼とは、期待を裏切らない仕事をする事、そのためには、プロフェッショナル・エンジニアたる技術者を身につける。そして、いつでも自分を新車のように磨き続けて、より高位のレベルに飛躍するということであります。人一倍の努力も行い、研究や開発、さらには、社内外におけるプロモートなどにおいて、それなりの結果を残せることができました。しかし、それは自分一人の力で成し得たものではありませんでした。行き詰まったり悩んだりしたいろいろな節目では、明専会

の先輩や同僚からの指導や支援などが私を大きく助けてくれました。これこそが国内最強と言われている明専会の真の絆だと感じました。その明専会は、全国49支部11分会で構成されています。したがって、九州の地に学び、各地に散っても、そこには明専会の先輩や仲間が事あるたびに集い、互いを啓発したり助け合ったりしてくれます。これこそが明専会の第一の使命であります。この活動を未来永劫発展させて行くために、平成卒が約80%を占める今日、明専会会費の特別優遇措置として終身会員制度を導入することにしました。その特典内容を含めたご案内を数カ月以内に皆様へ送る予定です。同窓の絆を自分自身の人生に活かしていくためにも終身会員へ入会されることを強くお勧め致します。

最後に、今まで育てていただいたご両親やご家族のご恩に対しては、気持ちだけではなく立派な形あるもので表すことが大事です。分かりやすく言いますと、たとえば、初任給の全額は、まずはお母様にあげることが一番の恩返しだと思います。

（いすゞ自動車(株)理事）